

教育ICT市場を丁寧に関拓する



各塾の使用教材が載せやすくなったFLENSのプラットフォーム。

いつでも導入できる体制になっていきます。そのため、現時点でのコンテンツラインナップは無敵とも言えます。

また、FLENSプラットフォームには、様々なコンテンツを簡単に載せて使っていただけますので、各塾で採用されているオリジナル教材も使えます。

FLENSのコンセプトは、教材の定着を対戦形式で計るコンテンツの場の提供です。従来、紙の教材の価値をさらに高めます。

この点も、ご導入塾様と教材会社様の双方より高くご評価いただいています。

必ずしもタブレットを購入しなくても必要はなく、レンタルでご提供することも可能です。OSもマルチ対応しています。そのため、初期投資がほとんど必要なく、ランニングコストのみで利用できるようなになっています。



また、「FLENSは専用端末でない」と動かないの？」と、

よく訊かれるのですが、専用端末ではなく、様々な端末で利用可能です。すでにタブレットを導入されているのであれば、そちらの端末をお使いいただけます。

我々は、FLENSを長く使っていただいて、信頼関係を築きながらサービスを提供したいと考えています。

私もともと塾で教えていました。その時に、IT教材は初期投資にお金がかかるのに、教室では全然使われていないという状況をよく目にしました。あの意味、焼畑的にマーケットが作られてきた歴史があります。

しかし、我々がほぼランニングコストのみで利用いただいているのは、教務システムを支える教材としてお客様に継続的にご利用いただけてこそ、真の価値があると考えているからです。

大生隆洋社長

▼就職時の自立を促すことも求めた。2014年5月時点で日本語指導が必要な子供は全国に約3万7千人おり、10年間で1.6倍に増加。最近ではブラジルやペルー出身者が減る一方、フィリピンやベトナムからの子供が増えている。

最新のトピックでは、教育開発出版のKey-tangoとFLENSのコラボレーションがあります。今後は、ほかの教材会社とのコラボレーションを増えていくのですか？

自塾の使っている教材をアプリに

多くの教材会社とすでにネットワークができていますので、ご要望をいただければ

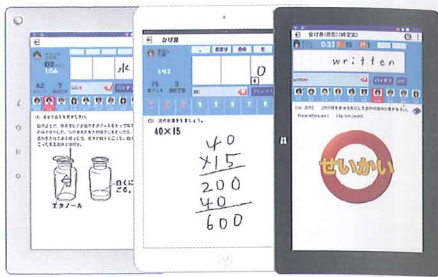
FLENSで対戦しながら勉強することによって魅力を増えることができます。FLENSの基本仕様には、ほかの生徒との競う(対戦する)機能があります。生徒は、対戦でいい結果を出したいがために一生懸命家庭で学習します。使い方によっては、ライブ授業の定着確認ツールとしても利用価値があります。

確認テストなどには使えないのでしょうか？

FLENSは、手書き入力ができるプラットフォームなので、確認テストや単元テストへもお使いいただけます。紙のテストは、採点や採点後の入力、成績帳票の作成などが、教師にとっても大きな負担となります。しかし、タブレットを使うことによって、教師の業務効率を上げることが可能になります。

確認テストの場合も、対戦型なのでしょうか？

対戦型も利用可能ですが、テスト中は対戦の経過は見えないようになっている「確認テストモード」もご用意しています。テスト結果は、帳票として出す



FLENSはあらゆるOSに対応している。

バリエーション豊かなFLENSの利用法

塾のテキストをFLENSに搭載することができ、る以外には、どのような使い方があられるのでしょうか？

ある塾では、すでにお持ちの家庭学習用のeラーニング教材とFLENSを連携されています。

eラーニング教材との連携とはどういったことでしょうか？

家でeラーニング教材を使って勉強するのは、生徒のモチベーションも低くなりがちです

ことが可能ですので、例えば、5分や10分のテストの後、すぐに結果をタブレット上で見られる仕組みになっています。

進化し続けるFLENS

FLENSを導入している塾の反応はいかがですか？

我々が「リハトレメソッド」と呼んでいる「家庭で学習したものの発表会を、塾でタブレットでやる」という学習法がとても効果的だ」と仰っていただくことが多いです。

これまでは、生徒にとって「宿



講座と連動した教材で家庭学習の質を向上させる。

そこで、夏期講習などの活用をご提案しています。これだと保護者や生徒に提案しやすくなると思います。個別指導向けの講習パッケージの場合、講習後の1学期間は既に学習した単

今後はどのような展開を予定されていますか？

個別指導向け教材との連携準備をしています。それに先立ち、個別指導塾様向けのご提案をこの春から本格化しています。

個別指導塾は集団指導塾と違い、ひとコマ単位で授業が組まれるため、生徒がFLENSのためにさらにひとコマ取らなくてはいけないというハードルがありました。しかし、それでは月謝や通塾回数が増えることになり、塾にとっても使い勝手が悪い。

この秋から、正式サービスとしてリリースを目指しているのですが、FLENSプラットフォームで学習したあと、その結果をほぼリアルタイムで、メールなどで保護者に伝える機能を提供する予定です。これにより、教師と保護者、あるいは家庭内でも新しいコミュニケーションが生まれることが考えられますし、塾での生徒の様子が簡単に伝えられるようになるので、教師の負担も減らすことができます。当初はメールのみでサービスを開始しますが、将来的にはLINEなどのSNSとの連携も視野に入れています。

◆外国人の子供の教育について検討してきた文部科学省の有識者会議は5月30日、報告書案をまとめ、大筋で合意した。指導の中心となる「拠点校」を設けて支援することや、担当教員を拡充することを盛り込んだ。キャリア教育やインターンシップを充実させて進学、